

平成１７年度教育情報共有化促進モデル事業報告書の発行にあたって

大阪府高等学校社会（地歴・公民）科研究会

会長 中村 清一

本研究会内部に設置された「教育情報共有化プロジェクト」チームは平成１６年度に、文部科学省の教育情報共有化促進モデル事業の「普及等実践指定教員団体」に指定された。このモデル事業は「教員等が有する教育情報の共有化と相互支援の仕組み作り」を研究課題とするものであり、本研究会では地理歴史・公民分野から専門科目を越えて幅広く有志を募集してプロジェクトチームを編成し、研究活動に取り組んできたところである。

文部科学省による上記事業は平成１６年度で終了し、平成１７年度は事業の目的を普及活動に重点をおく形で三菱総合研究所に引き継がれた。平成１６年度までの研究成果を広く普及し、教科教育におけるＩＴ活用を促進することが目的となったのである。本研究会においては、教育情報共有化および教科教育におけるＩＴ教育の重要性・必要性が大変大きいものであることから、本年度も研究会独自の活動として従前の研究活動を継続することを決定していたが、今回三菱総合研究所にその事業が引き継がれたので、引き続きその事業に参加することを決定したものである。

本年度の研究目標は「教育情報の共有化と相互支援の仕組み作りの取り組みを発展させ、教員が授業に生かせる具体的なノウハウを手に入れる」こととした。コンピュータがずいぶん普及したとはいえ、授業へのＩＴの活用については教員の間はまだ心理的・技術的な抵抗感・障壁が大きい。そこで、「みんなで収集し、活用する」、「はじめは誰でも初心者」、「困ったらヘルプ！誰かがサポート」等を実現すべく、教材収集セミナーや作成セミナー、公開授業や講演会、画像コンテンツの撮影会やホームページ上へのＵＰ講習会等を実施するとともに、教科、校種、業種、府県等の枠組みを超える人的ネットワークの形成に取り組んだ。

本年度の研究活動を終えるにあたって、本研究会としては一定の成果を上げ得たものと考えてはいますが、今後さらに発展させるためにも、関係各方面からの御高評・アドバイスをお願い申し上げます。

最後になりましたが、プロジェクトチームに参加され、研究活動に多大の労力を惜しまれなかった諸先生方に感謝申し上げます。